

○審査・選定基準

項目及び配点は下表のとおりとする。

審査項目	項目数	配点
1.応募資格審査	3	-
2.要求仕様	1	-
3.企画提案書・プレゼンテーション	9	220
合 計	13	220

1. 応募資格審査

項目	内容	配点	備考
資格審査	実施要領4. 応募条件(1) 応募資格②「ア～キ」を全て満たしているか。また、必要書類が提出されているか。	-	様式1 様式2 様式3
	同上、「ク」の書類提出がされているか。	-	
	同上、「ケ」の書類提出がされているか。	-	様式4

2. 要求仕様

項目	内容	配点	備考
機能要件	別紙5「機能要件一覧」の要求種別「必須要件」に対する対応可否が全て「○」となっているか。	-	別紙5

3. 企画提案書・プレゼンテーション

評価項目・評価の着眼点	配点
1.企業の財務健全性・安定性の評価・実績	
①提案事業者の事業の継続性について ・長期にわたる事業継続があるか。	5
②実績について ・類似業務で培ったノウハウをどのように本業務で活用するか具体的に示しているものとなっているか。	5
2.業務実施体制等	
①業務理解度について ・仕様書等の内容を踏まえて本市の現状及び課題と今後の取組方針を正しく理解しているか。課題解決に向けた着眼点は適切か。	20
②実施体制等について ・事業実施にあたり、人員配置、実施体制、実施方法は十分なものとなっているか。 ・提案内容とスケジュールに無理や無駄がなく、本業務を確実に実施できるものとなっているか。 ・リスクがあるポイントが明確になっており、その対応策が現実的なものとなっているか。	10
3.学校の負担軽減	
①利用者への連絡手段 ・利用者への連絡が簡便で、学校の負担が軽減される提案となっているか。	5
②利用状況確認 ・学校施設の予約状況の確認や利用日誌の集計を簡便に行えるか。また鍵の施錠・解錠ログ等の情報を確認する手段を有しているものとなっているか。	5

③施設予約の統制	・無断キャンセル等の違反行為が発生した場合に記録ができるものとなっているか。	5
4.市民の利便性向上		
①システムの操作性	・利用者にとって、施設の空き状況確認から予約までスムーズで分かり易い操作性のものであるか。	10
②システムの利用手段	・スマートフォン等を所持していない場合でも施設を利用できる運用手段があるか。	5
③扉の解錠手段	・扉の解錠方法は、統一的な解錠方法となっているか、また、分かり易い操作性のものであるか。	5
5.スマートキーボックスシステム		
①スマートキーボックスの操作性	・スマートキーボックスが操作しやすいかどうか。 ・利用者向け操作説明の手法が分かり易いものであるか。	5
②スマートキーボックスと予約システムとの連携実現性	・スマートキーボックスと予約システムが連携され、一体的な運用が行えるものであるか。	5
6.サポート・保守		
①研修について	・マニュアル作成や研修を実施する提案になっているか。 ・市職員や学校職員の事務負担を軽減するために有効なサポート内容が示されているか	10
②周知・広報	・本業務に関する市民への周知・広報は有効な提案となっているか。	5
③保守	・安定的なシステム運営が可能な体制が整えられているか。 ・24時間365日稼働が可能なシステムか。 ・障害発生時等のシステム復旧方法が提案されているか。 ・軽微な機能追加、改良に対して、柔軟な対応が可能か。	20
7.データセンター等		
①データセンターについて	・業務に用いるデータセンターが本市の提示した要件を満たしているか。	5
②セキュリティについて	・本市の提示したセキュリティ要件を満たしているか。	5
8.見積金額		
① 初期構築費用について	・見積金額は低廉であるか。	20
② 年間ランニングコストについて	・見積金額は低廉であるか。	30
9.プレゼンテーション・総合評価		
・プレゼンテーションや質疑応答が仕様書等の目的に合致し、総合的に評価できる内容であるか。		20
・本市の要件にはないが有効な提案がなされているか。独創性・創意工夫が盛り込まれているか。		20
合 計		220